

建築基準法 総合判定表

日付: 2023年07月07日 11:22:12

建物コード: 000000

建物名: 4035

■ 建物情報

屋根の重さ	軽い屋根	重い屋根	風力区分	一般地域	高風地域
-------	------	------	------	------	------

■ 壁量計算

建築基準法施行令第46条「構造耐力上必要な軸組等」第4項により軸組長さを検討する方法

階	方向	地震力			風圧力			存在壁量 (cm)	壁量充足率		判定 H \geq 1.00 かつ J \geq 1.00	壁量計算 判定
		床面積 (m ²)	係数 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)	見付面積 (m ²)	係数 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)		地震力 H=G \div C	風圧力 J=G \div F		
		A	B	C=A \times B	D	E	F=D \times E	G	H	J		
2	X	43.89	15	658.35	13.74	50	687.00	1911.00	2.90	2.78	○	適合
	Y			658.35	19.73		986.50	3094.00	4.69	3.13	○	
1	X	46.38	29	1345.02	33.56	50	1678.00	2639.00	1.96	1.57	○	
	Y			1345.02	41.16		2058.00	2411.50	1.79	1.17	○	

・床面積、見付面積: "＊"は編集値(任意に入力した値)を使用
 ・地震力の必要壁量: 「地盤割増」「必要壁量割増」を含みます
 (地盤割増: 1.00、必要壁量割増: 1.00)

・判定: 「壁量充足率(地震力 \cdot 風圧力)」がともに1.00以上 \rightarrow ○
 「壁量充足率(地震力 \cdot 風圧力)」の一方でも1.00未満 \rightarrow ×
 ・壁量計算判定: 「判定」がすべて「○」の場合 \rightarrow 適合

■ 偏心率

平成12年建設省告示第1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」

階	方向	偏心率	判定 偏心率 \leq 0.30	偏心率判定
2	X	0.03	○	適合
	Y	0.01	○	
1	X	0.21	○	
	Y	0.01	○	

● 四分割法と偏心率の判定について

平成12年建設省告示第1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」では、「四分割法」または「偏心率」のいずれかの判定が適合となること、とされています。

四分割法判定="適合" または 偏心率判定="適合"

・判定: 「偏心率」が0.30以下 \rightarrow ○
 「偏心率」が0.30超 \rightarrow ×

・偏心率判定: 「判定」がすべて「○」の場合 \rightarrow 適合
 「判定」がひとつでも「×」の場合 \rightarrow 不適合

■ 四分割法

平成12年建設省告示第1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」

階	方向	位置	床面積 (m ²)	係数 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)	存在壁量 (cm)	壁量充足率	充足率 判定	壁率比	壁率比 判定	四分割法 判定
			①	②	③=① \times ②	④	⑤=④ \div ③	⑤ $>$ 1.00	⑥=⑤小 \div ⑤大	⑥ \geq 0.5	⑤or⑥=○
2	X	上	11.60	15	174.00	682.50	3.92	○	0.78	○	適合
		下	9.12	15	136.80	682.50	4.98	○			
	Y	左	11.60	15	174.00	910.00	5.22	○	0.75	○	
		右	11.60	15	174.00	682.50	3.92	○			
1	X	上	11.60	29	336.40	1137.50	3.38	○	0.56	○	
		下	12.26	29	355.54	682.50	1.91	○			
	Y	左	11.60	29	336.40	910.00	2.70	○	0.74	○	
		右	11.60	29	336.40	682.50	2.02	○			

・必要壁量: 「地盤割増」を含みます。(地盤割増: 1.0)

・充足率判定: 「充足率判定」が「×」の場合は、その方向の壁率比判定を行います。

・四分割法判定: 「充足率判定」または「壁率比判定」が「○」の場合 \rightarrow 適合

・係数: "＊"がついている箇所は平屋建てまたは下屋の係数を使用。

■ N値計算

平成12年建設省告示第1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」

N	告示表三	金物名	金物数量(箇所)		
			1階	2階	計
0					
~0.65					
~1.0	(は)	山形プレートVP又はかど金物CP-T、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	68	75	143
~1.4					
~1.6					
~1.8	(へ)	10kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	12	12	24
~2.8	(と)	15kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	2	1	3
~3.7	(ち)	20kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	8	4	12
~4.7	(り)	25kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	0	0	0
~5.6	(ぬ)	15kN引き寄せ金物 \times 2、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	0	0	0
5.6超	(ー)		0	0	0

※金物数量は柱頭で1箇所、柱脚で1箇所と集計しています

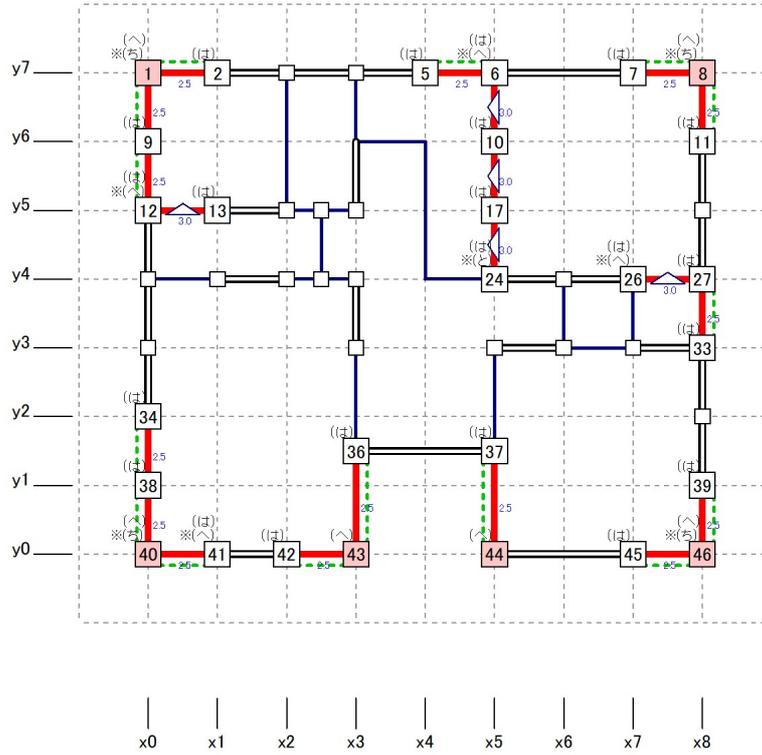
柱頭柱脚金物算定平面図

日付: 2023年07月07日 11:26:54

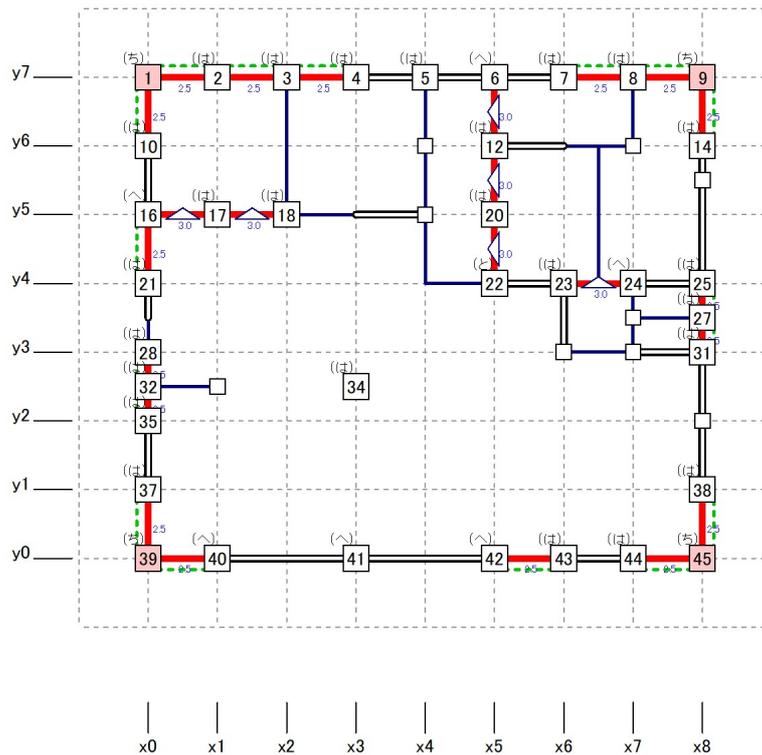
建物コード: 000000

建物名: 4035

2階



1階



縮尺 1/100

*印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)
 ※印の金物は2階柱脚を1階柱頭に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
 #印の金物は1階柱を2階柱に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)

- 凡例**
- 一般壁
 - 開口部
 - 検討柱
 - 検討外柱
 - ※ 検討外柱は(い)の金物を使用する。
 - 面材耐力壁
 - 大臣認定耐力壁
 - △ 筋かいダブル
 - △ 柱頭 筋かいシングル
 - (は) VP
 - (へ) HD-B10
 - (と) HD-B15
 - (ち) HD-B20
 - (り) HD-B25
 - (ぬ) HD-B15X2
 - (—) N>5.6

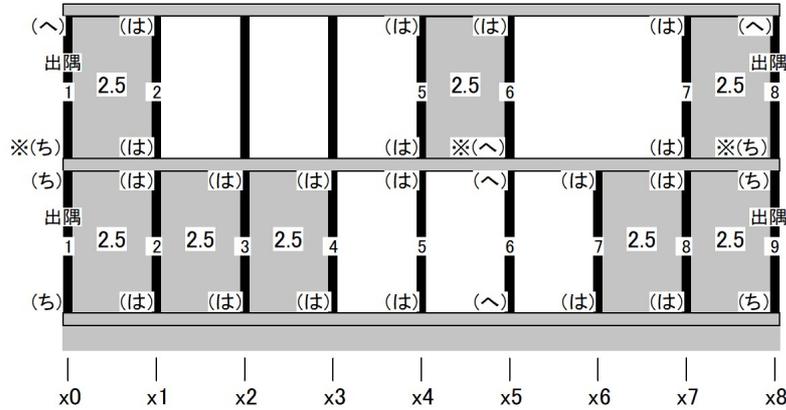
柱頭柱脚金物算定立面図

日付: 2023年07月07日 11:26:54

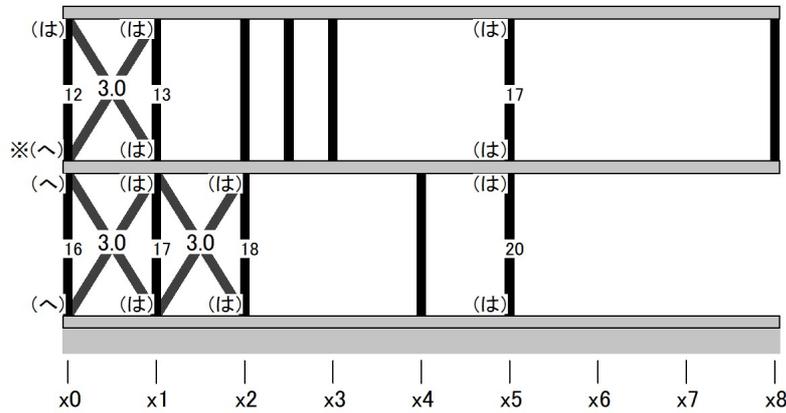
建物コード: 000000

建物名: 4035

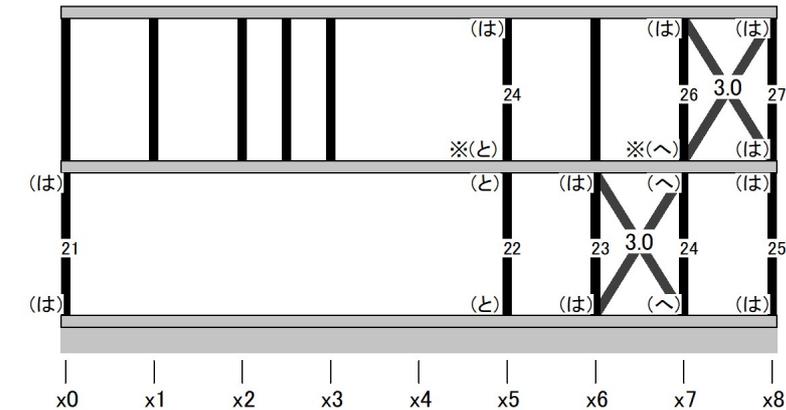
■y7通り



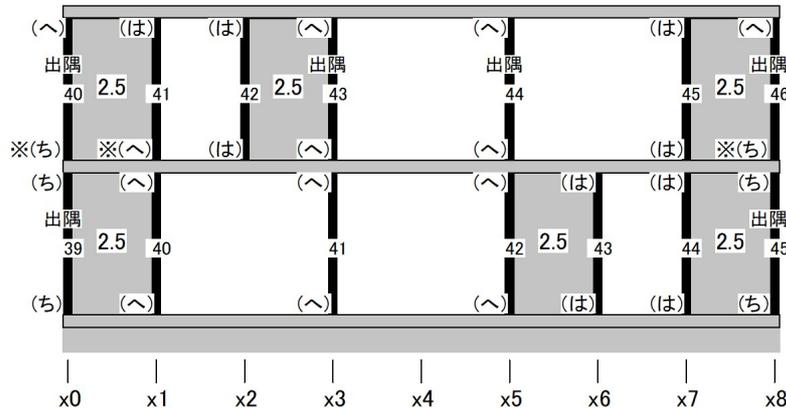
■y5通り



■y4通り



■y0通り



凡例 (は) VP (へ) HD-B10 (と) HD-B15 (ち) HD-B20 (り) HD-B25 (ぬ) HD-B15X2 (—) N>5.6

*印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)
 ※印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
 #印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)

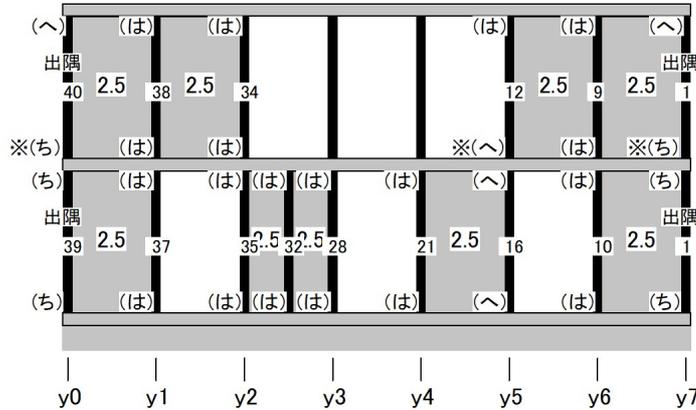
柱頭柱脚金物算定立面図

日付: 2023年07月07日 11:26:54

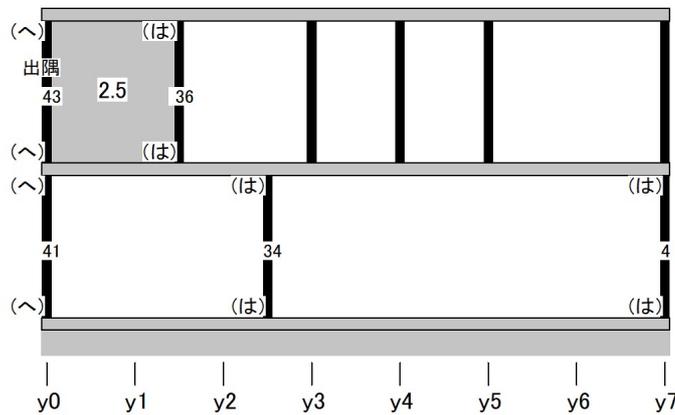
建物コード: 000000

建物名: 4035

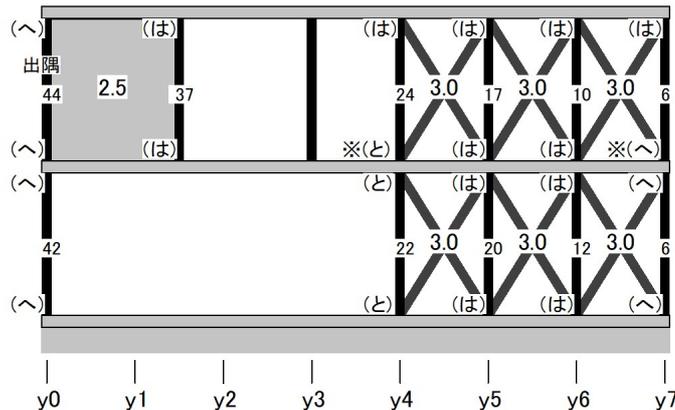
■x0通り



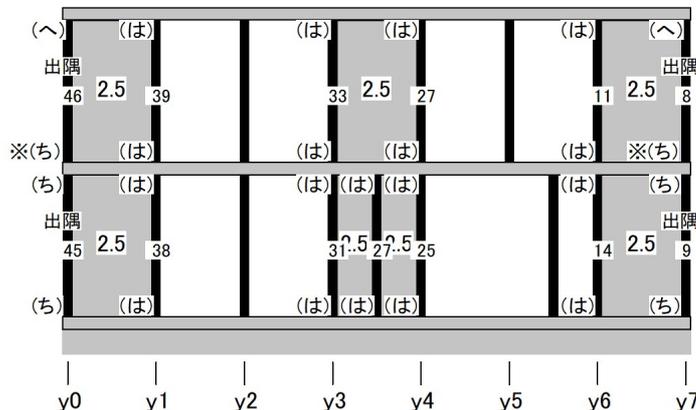
■x3通り



■x5通り



■x8通り



凡例 (は) VP (へ) HD-B10 (と) HD-B15 (ち) HD-B20 (り) HD-B25 (ぬ) HD-B15X2 (—) N>5.6

*印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)
 ※印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
 #印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)